

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 ジーエフシー株式会社

コード番号 7559 URL <http://www.gfc-c.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西村公一

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 飯尾照男

TEL 058-387-8181

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	10,450	△1.2	△99	—	△73	—	△47	—
26年3月期第2四半期	10,587	4.5	△41	—	△16	—	△9	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △35百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △22百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△8.22	—
26年3月期第2四半期	△1.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	17,537	14,721	83.9
26年3月期	17,761	14,901	83.8

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 14,721百万円 26年3月期 14,901百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,246	4.6	654	△3.7	711	△3.0	441	△2.7	76.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	5,769,040 株	26年3月期	5,769,040 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	116 株	26年3月期	116 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	5,768,924 株	26年3月期2Q	5,768,924 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策を背景に、景気は緩やかな回復基調にあったものの、企業収益の改善に足踏みがみられ、4月の消費税増税による個人消費の落ち込みの長期化が懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

外食産業におきましては、消費者の食の安全・安心に対する関心がより一層高まるとともに、低価格志向・節約志向が依然として続いております。

また、運送会社からの値上げ要求や原材料価格の高騰、エネルギーコストの上昇など、当社を取り巻く経営環境はより一層厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、市場競争力の高い商品の企画開発力の強化に注力するとともに、珍味・和食を中心とした業務用食材の専門性を高め、より一層きめの細かい営業活動を実施することにより、市場でのシェアアップに全力を傾けると同時に、国内外の新規販路開拓に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は104億50百万円（前年同四半期比1.2%減）、営業損失99百万円（前年同四半期は営業損失41百万円）、経常損失73百万円（前年同四半期は経常損失16百万円）、四半期純損失47百万円（前年同四半期は四半期純損失9百万円）となりました。

なお、当社グループは、業務用加工食材事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、175億37百万円（前連結会計年度末は177億61百万円）となり、2億23百万円減少いたしました。投資有価証券の増加（10億27百万円から13億44百万円、3億16百万円増）、商品及び製品の増加（8億73百万円から10億68百万円、1億94百万円増）並びに受取手形及び売掛金の増加（30億44百万円から31億68百万円、1億23百万円増）があったものの、現金及び預金の減少（55億20百万円から48億45百万円、6億74百万円減）並びに有価証券の減少（18億99百万円から15億99百万円、2億99百万円減）が主な要因であります。

(負債の状況)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、28億16百万円（前連結会計年度末は28億60百万円）となり、44百万円減少いたしました。支払手形及び買掛金の増加（18億4百万円から19億94百万円、1億90百万円増）があったものの、未払法人税等の減少（2億78百万円から11百万円、2億66百万円減）が主な要因であります。

(純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、147億21百万円（前連結会計年度末は149億1百万円）となり、1億79百万円減少いたしました。利益剰余金の減少（102億68百万円から100億76百万円、1億91百万円減）が主な要因であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前第2四半期連結累計期間に比べ4億5百万円減少し51億45百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果使用した資金は、3億51百万円（前第2四半期連結累計期間は28百万円支出）となりました。これは主に仕入債務の増加額1億90百万円があったものの、法人税等の支払額2億68百万円、たな卸資産の増加額1億85百万円並びに売上債権の増加額1億23百万円により、資金が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は、1億78百万円（前第2四半期連結累計期間は54百万円支出）となりました。これは主に有価証券の償還による収入27億円があったものの、有価証券の取得による支出24億円、投資有価証券の取得による支出3億円並びに有形固定資産の取得による支出1億25百万円により、資金が減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、1億44百万円（前第2四半期連結累計期間は1億45百万円支出）となりました。これは主に配当金の支払額1億44百万円により、資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,520,597	4,845,924
受取手形及び売掛金	3,044,673	3,168,155
有価証券	1,899,873	1,599,916
商品及び製品	873,260	1,068,067
原材料及び貯蔵品	76,834	67,264
繰延税金資産	82,753	115,710
その他	102,017	99,437
貸倒引当金	△6,380	△5,680
流動資産合計	11,593,629	10,958,795
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	837,137	878,108
機械装置及び運搬具（純額）	107,798	113,446
土地	3,800,175	3,800,175
その他（純額）	49,970	62,937
有形固定資産合計	4,795,080	4,854,666
無形固定資産	72,219	64,930
投資その他の資産		
投資有価証券	1,027,556	1,344,521
繰延税金資産	66,228	63,335
退職給付に係る資産	73,271	79,637
その他	142,835	172,214
貸倒引当金	△8,969	△101
投資その他の資産合計	1,300,922	1,659,607
固定資産合計	6,168,222	6,579,204
資産合計	17,761,852	17,537,999

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,804,315	1,994,948
未払法人税等	278,035	11,103
賞与引当金	139,355	196,476
役員賞与引当金	4,485	1,875
その他	249,987	225,592
流動負債合計	2,476,178	2,429,995
固定負債		
役員退職慰労引当金	96,575	79,593
退職給付に係る負債	240,227	251,552
その他	47,706	55,421
固定負債合計	384,508	386,566
負債合計	2,860,687	2,816,562
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,344,021	2,344,021
資本剰余金	2,295,156	2,295,156
利益剰余金	10,268,439	10,076,762
自己株式	△132	△132
株主資本合計	14,907,485	14,715,808
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,319	5,628
その他の包括利益累計額合計	△6,319	5,628
純資産合計	14,901,165	14,721,437
負債純資産合計	17,761,852	17,537,999

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	10,587,088	10,450,229
売上原価	8,797,539	8,703,706
売上総利益	1,789,549	1,746,522
販売費及び一般管理費	1,831,394	1,845,555
営業損失(△)	△41,845	△99,033
営業外収益		
受取利息	7,031	9,279
受取配当金	1,935	1,979
受取賃貸料	2,598	2,767
貸倒引当金戻入額	5,923	1,512
その他	8,103	10,424
営業外収益合計	25,592	25,963
営業外費用		
賃貸収入原価	143	135
営業外費用合計	143	135
経常損失(△)	△16,396	△73,205
特別利益		
固定資産売却益	165	111
特別利益合計	165	111
特別損失		
固定資産売却損	63	947
固定資産除却損	2,345	2,794
特別損失合計	2,408	3,742
税金等調整前四半期純損失(△)	△18,639	△76,836
法人税、住民税及び事業税	4,648	5,696
法人税等調整額	△13,363	△35,079
法人税等合計	△8,714	△29,383
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△9,924	△47,453
四半期純損失(△)	△9,924	△47,453

（四半期連結包括利益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△9,924	△47,453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,348	11,948
その他の包括利益合計	△12,348	11,948
四半期包括利益	△22,273	△35,505
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△22,273	△35,505
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△18,639	△76,836
減価償却費	74,597	81,111
賞与引当金の増減額 (△は減少)	59,766	57,121
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,520	△2,610
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	11,133	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△22,455	△16,982
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,923	△9,567
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	11,324
受取利息及び受取配当金	△8,967	△11,258
固定資産売却損益 (△は益)	△102	836
固定資産除却損	2,345	2,794
売上債権の増減額 (△は増加)	468,142	△123,481
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△318,570	△185,237
仕入債務の増減額 (△は減少)	118,747	190,633
その他の資産の増減額 (△は増加)	20,504	13,982
その他の負債の増減額 (△は減少)	△107,948	△25,133
小計	268,111	△93,303
利息及び配当金の受取額	9,129	10,365
法人税等の支払額	△305,872	△268,732
営業活動によるキャッシュ・フロー	△28,630	△351,670
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△707,706	△2,400,000
有価証券の償還による収入	900,000	2,700,000
有形固定資産の取得による支出	△55,977	△125,074
有形固定資産の売却による収入	547	201
無形固定資産の取得による支出	△10,175	△3,680
投資有価証券の取得による支出	△300,000	△300,000
投資有価証券の償還による収入	107,496	—
長期貸付金の回収による収入	11,445	—
その他	—	△50,147
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,370	△178,700
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△145,008	△144,302
財務活動によるキャッシュ・フロー	△145,008	△144,302
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△228,010	△674,673
現金及び現金同等物の期首残高	5,779,242	5,820,597
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,551,231	5,145,924

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

当社グループは、業務用加工食材事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。